

植物防疫情報第3号

令和5年6月23日
岡山県植物防疫協会
岡山県病害虫防除所

ブドウべと病に引き続き御注意ください

岡山県病害虫防除所の6月22日の巡回調査（簡易被覆栽培）によると、発生圃場率は100%と平年（37.3%）より高くなっています。葉での発生程度が高く、幼果で発病している圃場も確認されました。

広島地方気象台による向こう1か月の予報（6月22日発表）によると、気温は平年より高く、降水量はほぼ平年並とされているものの、平年と同様に曇りや雨の日が多いと予想される期間があり、降雨が続くと急速に発病程度が高まる恐れがあります。圃場をよく観察し、防除を徹底してください。

（防除上の参考事項）

- （1） 前回のブドウべと病に対する植物防疫情報発表時（発生圃場率 36.4%、令和5年6月15日付）より発生に進展が見られる。
- （2） 発病した葉や花穂は二次伝染源となるため、見つけ次第取り除き、ほ場から持ち出して処分する。
- （3） 防除暦に従い、定期防除を徹底し、発生の多いほ場では応急防除を行う。
- （4） 農薬の使用にあたっては、果実の果粉溶脱に対する注意や収穫前日数を考慮して農薬使用基準を遵守し、安全・適正に使用するとともに、周辺農作物等への農薬飛散防止策をとる。



図1 圃場における発生状況
（葉の黄緑色部分はべと病による被害）



図2 幼果での発生

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。
アドレスは、<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/>です。

